

〔国際会議〕

申 請 者	豊田工業大学 工学部 教授 佐々木 実	2025006
研究集会名	第18回 光 MEMS・ナノフォトニクス国際会議 (International Conference on Optical MEMS and Nanophotonics 2013)	
開催期間	2013年8月18日～8月22日	
開催場所	金沢市文化ホール（石川県金沢市）	
申請者の役割	議長	

概 要：

本会議は、本助成をはじめとする複数団体からの支援と賛助を頂き、金沢市文化ホールにおいて5日間にわたり開催された。会議の学術内容として、デバイス製作技術（ナノ構造材料を含む）、光機能の創発（プラズモニクスやメタマテリアルを含む）に代表される、マイクロ・ナノ科学における最先端の基礎技術開発から、それらを応用したデバイス機能の高度化、光波の制御、バイオメディカル分野への応用など、幅広い研究発表が行われた。論文件数の比率は、いわゆる光線幾何学を取り扱う光 MEMS が7割で、ナノフォトニクスが残りの3割であった。12ヶ国より100名を超える参加者があり、87件の発表がなされた（開催直前の取り下げは1件も出なかった）。アジア地区からの発表件数が全体の7割を占めた（本会議のアジア開催年時の傾向ではあるが、今回はそれが強かった）。企業からの発表が3件、産学連携の発表が7件あった。口頭発表・ポスター発表のいずれにおいても活発な議論や意見交換がなされ、研究交流の場としても非常に有意義であった。全体の半数以上が海外からの参加者であり、日本国内で開催される国際会議としては、海外からの参加者割合が高い。高度な学術レベルの発表と共に、研究者間での学術交流が活発に行われた。また、地元ボランティアの協力による、金沢城、武家屋敷、兼六園の見学に加えて、バンケットでの日本舞踊など、金沢ならではの趣向を提供した。論文集発行（冊子体とCD）や会議の運営なども円滑に進められ、成功を収めることができ、有意義な会となった。